

財政分析指標

地方公共団体の財政運営状況を客観的に判断する材料として、様々な財政分析指標があります。

以下の指標は普通会計ベースで算出したものです。

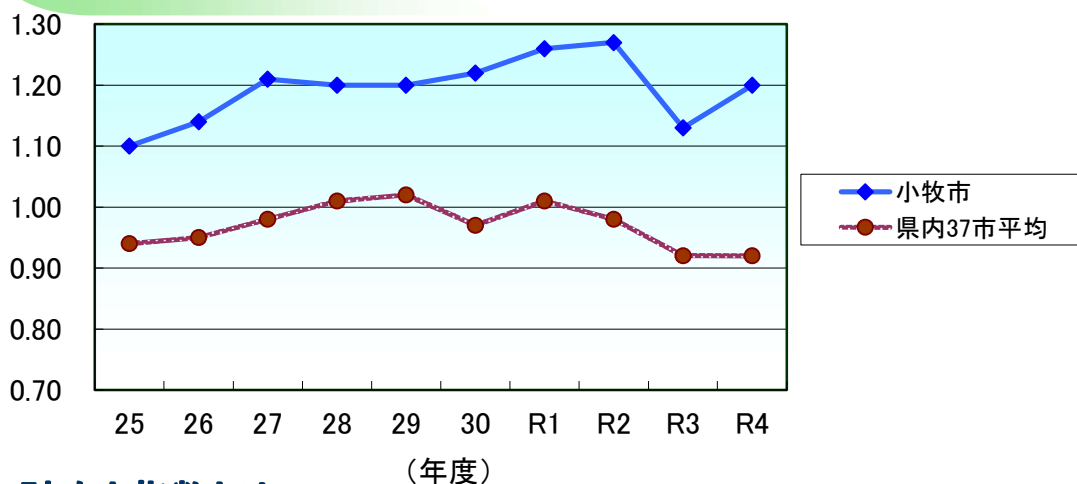
「普通会計」とは…

「一般会計」や「特別会計」といった区別の基準は、地方公共団体によってまちまちなので、そのままでは他団体と比較することができません。このため、一般会計といくつかの特別会計の一部を合算し、全国统一基準として作られた観念上の会計が「普通会計」です。

普通会計＝一般会計＋土地取得特別会計
＋文津・岩崎山前・小牧南・本庄土地区画整理事業特別会計

《参考》令和4年度小牧市普通会計決算額 歳入：63,817,183千円
歳出：60,909,833千円

財政力指数の推移（単年度）



財政力指数とは…

地方公共団体が標準的な行政活動を行うために必要な経費と、それに対する収入のバランスを示す指数で、この指数が大きいほど財政力があるとされます。

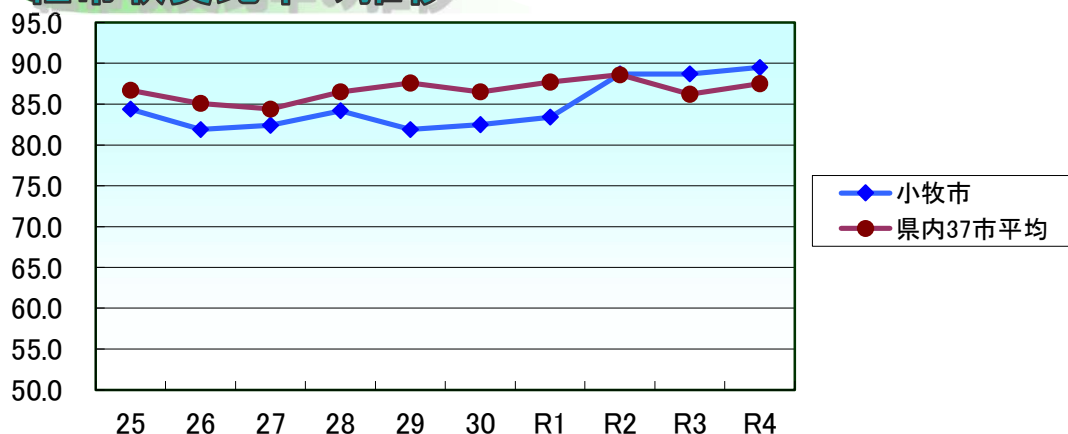
「1」を超えると財源に余裕があるとみなされ、普通交付税は不交付となります。

なお、令和4年度における小牧市の財政力指数(単年度)は1.20であり、これは
・県内第6位(名古屋市を除く37市中)となっています。

《参考》令和3年度における小牧市の財政力指数(単年度)は1.13であり、

・県内第7位(名古屋市を除く37市中) 全国第13位(792市中)

経常収支比率の推移



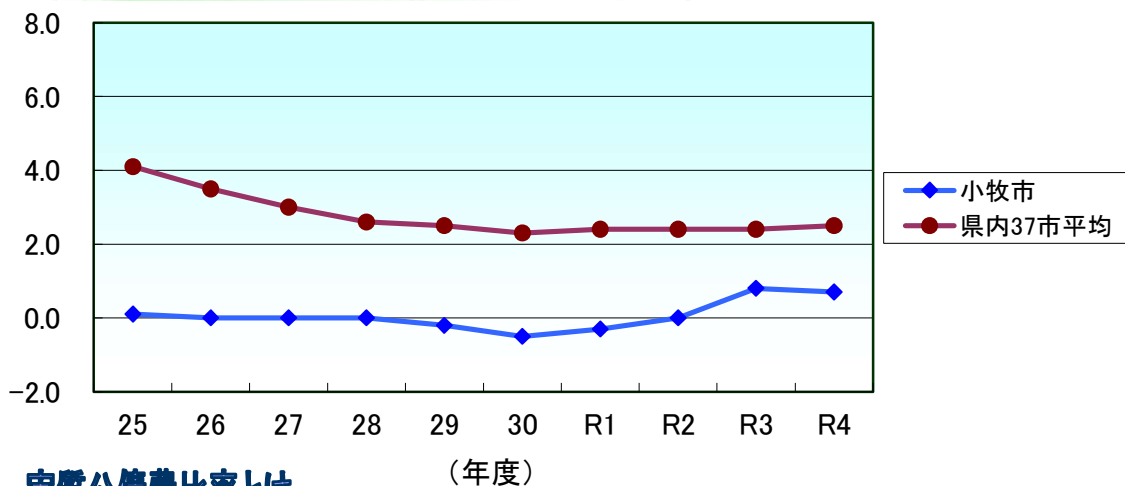
経常収支比率とは… (年度)

経常的経費に経常的一般財源がどの程度充てられているかを示すものであり、財政構造の弾力性を示すものです。この指数が低いほど財政構造に弾力性があるとされます。

なお、令和4年度における小牧市の経常収支比率は89.5%であり、
 ・県内第21位(名古屋市を除く37市中)となっています。

《参考》令和3年度における小牧市の経常収支比率は88.7%であり、
 ・県内第31位(名古屋市を除く37市中) 全国第405位(792市中)

実質公債費比率の推移 (3か年平均)



実質公債費比率とは… (年度)

市税等の毎年経常的に収入される財源に占める償還に要する費用(公債費)の割合を示します。特別会計や企業会計等への繰出金のうち、公債費に充てられるものも含まれます。25%を超えると、財政立て直しの道筋を示した財政健全化計画の策定が必要となります。

なお、令和4年度における小牧市の実質公債費比率は0.7%であり、
 ・県内第11位(名古屋市を除く37市中)となっています。

《参考》令和3年度における小牧市の実質公債費比率は0.8%であり、
 ・県内第12位(名古屋市を除く37市中) 全国第350位(792市中)